

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：奥村 康博

事業の概要

事業名	一般国道493号（阿南安芸自動車道） 野根安倉道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸郡東洋町野根 至：高知県安芸郡北川村安倉	延長	8.5km		
事業概要	野根安倉道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、高知県安芸郡東洋町野根から高知県安芸郡北川村安倉に至る延長8.5kmの自動車専用道路である（阿南安芸自動車道は徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110kmの地域高規格道路である）。				
事業の目的、必要性	南海トラフ巨大地震による津波や豪雨等による土砂災害発生時に国道493号及び国道55号の代わりに地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救急活動のアクセスを確保し、四国横断自動車道、高知東部自動車道と一体となって四国8の字ネットワークを構成。信頼性の高いネットワークを確保することで、地域住民の安全性・利便性の向上や産業・観光振興を支援するものである。				
全体事業費	約450億円	計画交通量	約2,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3 (0.4)	総費用 3,290億円 (事業費: 2,924億円 維持管理費: 366億円)	総便益 4,375億円 (走行時間短縮便益: 3,692億円 走行経費減少便益: 496億円 交通事故減少便益: 188億円)	基準年 令和元年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2 (交通量 -10%)	B/C=1.5 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.2 (事業費 +10%)	B/C=1.5 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.3 (事業期間 +20%)	B/C=1.4 (事業期間 -20%)		
事業の影響	者への影響	自動車や歩行	評価	根拠	
		渋滞対策	-	注目すべき影響はない。	
		事故対策	-	注目すべき影響はない。	
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	-	注目すべき影響はない。	
		地域経済	◎	<b>【観光振興や産業振興に寄与】</b> ・市場に向けた計画的且つ円滑な搬送ルートの形成により、高知県東部地域の産業振興を支援。 ・走行性の高い周遊ルートの形成により、高知県東部地域の観光振興を支援。 [JA土佐あき北川支所から鳴門大橋への所要時間] 現況 約4時間12分 ⇒ 整備後 約3時間57分 (約15分短縮) [野根地域から安倉地域間の事前通行規制・平面線形不良・急勾配区間の解消] 現況 12.2km ⇒ 整備後 0km (事前通行規制区間) 現況 107箇所 ⇒ 整備後 0箇所 (平面線形不良箇所 (R<150)) 現況 5.4km ⇒ 整備後 0km (急勾配区間 (i>5%))	
		災害	◎	<b>【信頼性の高いネットワークの確保】</b> ・豪雨による土砂崩壊や日常的な落石等の影響を受けない当該路線により日常生活を支えるとともに、南海トラフ巨大地震時における円滑な救援活動に寄与。 [野根地域～安倉地域間を移動する経路における落石件数] 現況 月平均約13件 ⇒ 整備後 0件 (約13件減) [野根地域～安倉地域間を移動する経路における防災点検要対策箇所] 現況 61箇所 ⇒ 整備後 0箇所 (61箇所減)	
環境		-	注目すべき影響はない。		
地域社会	-	注目すべき影響はない。			
事業実施環境	○	・計画段階評価手続き完了（平成31年1月） ・高知県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望			

**関係する地方公共団体等の意見**  
**【高知県知事】**  
 国道493号の東洋町野根から北川村柏木に至る現道は、地形が急峻で地質が極めて脆弱なために、落石等の危険箇所が多数あるだけでなく、豪雨時には大規模な地すべりにより道路が崩壊し、長期間の通行止めも発生しています。また、沿岸部を通る国道55号も台風時の事前通行規制や越波により通行止めが度々発生しているだけでなく、南海トラフ地震の発生時には、津波による浸水等で道路が寸断されることが想定されています。このため、平常時には県東部の地域経済の活性化を支える重要な社会資本として、災害時には円滑な救助活動等を確保するための不可欠な命の道として重要な役割を担う、阿南安芸自動車道野根～安倉について、直轄による権限代行事業の実施をお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
 ・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。  
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（平成31年1月）

採択の理由

費用便益が一体評価で1.3と便益が費用を上回っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。また、野根安倉道路の整備により信頼性の高いネットワークを確保し、産業振興や観光振興の支援など事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※B/Cの上段は徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

## 新新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
南海トラフ地震による深刻な被害や豪雨等による事前通行規制や土砂災害発生が予測される地域において、国道493号及び国道55号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、「ゆず」に代表される地域産業支援や広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道493号は豪雨による事前通行規制や土砂崩壊、日常的な落石が発生。</li> <li>・地域の幹線道路である国道55号は南海トラフ地震による津波により約8割が浸水する予測となっている。また、豪雨による事前通行規制や越波による通行止めが発生。</li> <li>・信頼性の高いネットワーク確保が課題。</li> </ul>	※四国圏広域地方計画（H28.3） ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。
住民生活	—	—
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県東部地域は全国有数の「ゆず」の産地であるが、出荷時に豪雨による事前通行規制や急カーブ・急勾配による運転者への負担など、計画的且つ円滑な輸送が困難となっている。</li> <li>・高知県全体の観光入込客数が増加傾向にあるなか、高知県東部地域は、日本遺産に認定されるなど観光面で注目されているものの、点在する観光地間の走行性や周遊性に課題があり観光客数が伸び悩んでいる。</li> </ul>	※四国圏広域地方計画（H28.3） ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨って、テーマ性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。
その他	—	—

事業の有効性									
・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高いネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	あき総合 病院	東洋町	67 (3)	0.89 [C] 〔0.67〕 [C]	0.79 [C] 〔0.67〕 [C]	953.62 (24.31)	0.18 (0.06)	0.13 (0.00)	○

事業の効率性
・計画段階評価手続き完了（平成31年1月）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。